

消防出初式

平成19年須恵町消防出初式が、1月7日（日）に健康広場で行われ、豊田幹也団長以下155人の団員と多数の来賓が出席しました。

式典は、国旗と団旗を先頭に、団員と11台の車両の分列行進がありました。その後、中嶋町長や来賓による観閲、各分団から選ばれた団員たちによる、整然とした力強い



団長や来賓による観閲

小隊訓練が披露されました。

このあと、分団別にハッピ姿で整列した団員を前に、中嶋町長の式辞や豊田団長の訓示がありました。続いて、優良団員表彰や永年勤続表彰、そして来賓や消防関係者から団員たちの献身的な消防活動に対する、感謝や激励の言葉が贈られました。

消防団をご存知ですか？

1年間の活動内容をご紹介します

みなさんの地域の、身近なところで活動している「消防団」。時どき耳にする言葉と思いますが、詳しい活動内容などは、団員の家族やOBの人たち以外は、あまりご存知ではないのではないのでしょうか。

今回は、町の防災体制のかなめである消防団の1年間の主な活動内容をご紹介します。これをご覧いただき、みなさんの消防団活動に対するご理解を少しでもいただければと思います。

消防出初式（1月）

消防団の1年は、出初式ではじまります。毎年、新年を迎え正月3が日を除いた、最初の日曜日に健康広場で式典を行います。

式では、消防装備や備品の観閲などを受けた後、町長の式辞や団長の訓示などが行われます。

春の火災予防運動（3月）

3月1日から7日までの1週間は、春季全国火災予防運動が始まります。

期間中団員たちは、消防格納庫に待機して巡回パトロール、各分団に装備されている消防ポンプや器材などの点検を行います。また、7時と21時にサイレンを鳴らして火災予防を呼びかけます。

また、期間中団員たちは、消防格納庫に待機して巡回パトロール、各分団に装備されている消防ポンプや器材などの点検を行います。また、7時と21時にサイレンを鳴らして火災予防を呼びかけます。

また、期間中の日曜日には模擬火災訓練も行われます。

この訓練は、機械器具と無線機器などを使いながら、各分団が相互に連携を取って活動することと、町民みなさんの防火意識の高揚を図ることを目的に実施されています。

入退団式（4月）

4月は、団員の入退団式が行われます。退団する人や新しく団員として活躍される人が、それぞれの思いを抱いてこの日を迎えます。去っていく分団長から、団員たちへ分団旗の引継ぎなどがあります。新入団員のみなさんは、先輩団員の指導のもと消防団としての第一歩を踏み出します。

水防訓練（5月）

5月になると、梅雨どきの水害や水難事故に備えて、土のうを使った訓練やダミー人形を使った人工呼吸法訓練などを行います。町民の生命と財産を守るため、水防技術の習得と緊急救助訓練などを行い、不慮の災害に備えています。

ポンプ操法大会（7月）

1年間の消防団活動の中で、メイン行事ともいえるのがポンプ操

法大会です。これは、団員の消防技術の向上と土気の高揚を図ることを目的としています。毎年7月ごろに行われる大会にむけて、消防ポンプや器材の取り扱い方法などの練習に取り組みます。早い分団は、大会の3か月前から練習を行います。

しかし、団員は仕事を終えたあとの連日の訓練となり、本人はもとよりその家族や職場のみなさんの協力が必要となります。

秋の火災予防運動（11月）

11月9日から15日までの1週間は、秋季全国火災予防運動が始まります。

活動内容および模擬火災訓練については、春の火災予防運動と同じです。

年末夜警（12月）

消防活動の1年を締めくくることが年末夜警です。12月25日から30日までの間、年末の火災予防を目的に取り組んでいます。

団員たちは、消防格納庫に待機して巡回パトロールや、消防ポンプや器材などの点検整備などを行います。

消防団活動について、1年間の主な行事を中心に紹介しました

消防団に参加しませんか

町では、消防団活動に必要な施設や装備の充実、団員の処遇改善などを計画的に進めています。

一方、人的整備についても、分団長を中心に新規団員加入推進を図るなど努力を重ねていますが、その加入実態は年々厳しさを増しています。本町の団員の年齢層は、20歳代から30歳代の人たちが加入しています。

実際、火災や災害現場での活動は厳しく危険を伴います。しかし、いざというとき消防団が現場に駆けつけるのは、団員に「自分たちの地域や町を守っていきたい」という強い意志があるからです。あなたも、消防団の一員としてその気持ちを生かしてみませんか。

▼問合せ先

役場総務課
☎932・1151



小隊訓練



優良団員表彰